

ガス給湯器

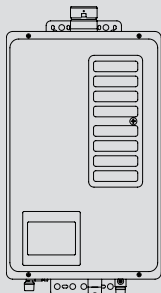
取扱説明書（保証書付）

型番

533-N500型

型式名

GQ-1037WD-F-1



まずはじめに

ご使用前に

使いかた

必要なとき

困ったとき

ご参考

保証書

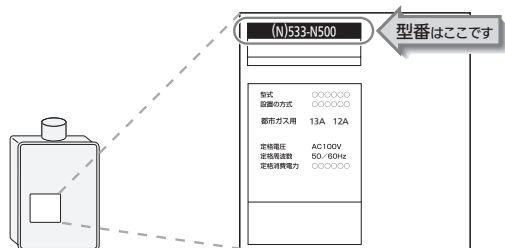


ごあいさつ

このたびは大阪ガスのガス給湯器をお求めいただきまして、まことにありがとうございます。

- この取扱説明書をよくお読みになって、正しくご使用ください。
- なお、ご不明な点があれば販売店または、もよりの大阪ガスにお問い合わせください。
- 保証書の内容もよくお読みいただき、保証期間・保証内容を確認してください。
- この取扱説明書(保証書付)はいつでもご覧になれるところに保管してください。

製品の型番を確認するには



もくじ

まずはじめに

ごあいさつ	2
製品の型番を確認するには	2
必ずお守りください(安全上の注意)	4

ご使用前に

初めてお使いになるときは	10
各部のなまえとはたらき(機器本体)	11
各部のなまえとはたらき(操作部・リモコン)	12

使いかた

操作部で時計を合わせる・時計を表示させる	15
お湯を出す	16
お湯の温度を調節する	17
お湯の温度を調節できないときは<優先切替>	18
浴室から操作部のプザーを鳴らす<呼び出し>	19
お風呂にお湯はりをする	20
リモコン操作音を消す(鳴らす)	22
表示の節電の設定を変更する	23

必要なとき

凍結による破損を予防する	24
長期間使用しないとき(水抜きの方法)	26
日常の点検・お手入れのしかた	27
法定点検について	29

困ったとき

故障・異常かな?と思ったら	31
アフターサービスについて	36

ご参考

主な仕様	37
初期設定一覧	38

保証書

裏表紙

必ずお守りください(安全上の注意)-1

お使いになる方や他の方への危害・財産への損害を未然に防止するために、つぎのような区分・表示をしています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りいただき、内容をよく理解して正しくお使いください。

危険	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡、重傷を負う危険、または火災の危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。
注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性や物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
お願い	安全に快適に使用していただくために、理解していただきたい内容を示しています。

危険

ガス漏れに気づいたときは、

1. すぐに使用をやめる
2. ガス栓を閉める
また、メーターのガス栓も閉める
3. 窓や戸を開ける
4. 販売店または、もよりの大阪ガスに連絡する



ガス漏れ時は、絶対に

- ・火をつけない
- ・電気器具のスイッチの入・切をしない
- ・電源プラグの抜き差しをしない
- ・周辺の電話も使用しない

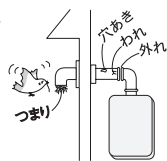


火や火花で引火し、火災の原因になります。



排気筒が外れたり、穴があいたり、つままった状態で使用しない

排気ガスが室内に漏れて、一酸化炭素中毒の原因になります。



使用中、台所や脱衣室などの換気扇を使用しない

室内に排気が入って、一酸化炭素中毒の原因になります。



警告

地震、火災などの緊急の場合は、次の手順に従う

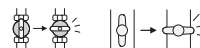


1. 給湯栓を閉める



2. 運転スイッチを「切」にする

3. ガス栓・給水元栓を閉める

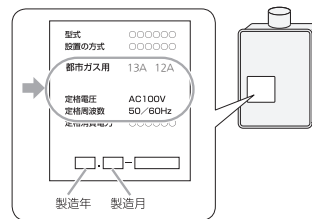


点火しない場合または、使用中に異常な臭気、異常音、異常な温度を感じた場合や、使用中で消火する場合は、ただちに使用を中止しガス栓を閉める

使用中に異常があった場合は、「故障・異常かな?」と思ったら(☎P31～35)に従い処置をする

上記の処置をしても直らない場合は、使用を中止し、販売店に連絡する

必ず銘板に表示のガス・電源で使用する



表示のガス種および電源が一致しないと、不完全燃焼による一酸化炭素中毒になったり、異常点火でやけどしたり、機器が故障する場合があります。特に転居した場合は、必ずガスの種類(電源の種類)が一致しているかどうか確認してください。わからない場合は、販売店または、もよりの大阪ガスに連絡してください。

ガス配管接続工事には専門の資格、技術が必要なため、機器の設置・移動・取り外しおよび付帯工事は、販売店または、もよりの大阪ガスに依頼する



安全に使用していただくため。

シャワー使用時に使用者以外が、リモコンの温度を変えたり、運転スイッチ「切」にしたり、「優先」を切り替えたりしない



高温に変更されたときのやけど予防のため。また、低温に変更されたり運転スイッチ「切」にされると、冷水になって使用者が驚く原因になります。

浴槽の湯温を手で確認してから入浴するやけど予防のため。



シャワーなどお湯の使用時は、リモコンに表示の温度をよく確かめ、手で湯温を確認してから使用する

60℃の高温で使ったあと、あらためて使用するときは特に注意してください。やけど予防のため。



太陽熱温水器とは絶対に接続しない



お湯の温度制御ができなくなり、やけどや機器の故障の原因になります。

電源プラグはぬれた手でさわらない



感電の原因になります。



電源プラグは根元まで確実に差し込む



差し込みが不十分だと、感電や火災の原因になります。



電源プラグのホコリは定期的取る



ホコリがたまると、火災の原因になります。電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

電源コード、電源プラグの破損・加工をしない束ねたり、無理に曲げたり、引っ張ったり、物を載せたり、衝撃を与えたりして無理な力を加えない。傷つけない。加工をしない。



感電、ショート、火災の原因になります。

(つづ)

必ずお守りください(安全上の注意)-2

(つづき)

警告

屋外に設置しない

雨水が浸入したり、炎が風におおられたりして、故障や火災の原因になります。

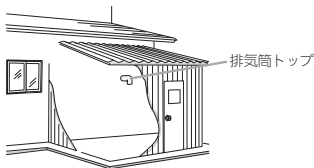


屋外



禁止

増改築などで屋内状態にしない(波板囲いなどをしない)



排気筒トップ



禁止

一酸化炭素中毒・火災の原因になります。

灯油、ガソリン、ベンジンなど、引火のおそれのある物を機器本体や排気筒トップのまわりに使用しない

火災の原因になります。



禁止

スプレー缶やカセットこんろ用ボンベを、機器本体や排気筒トップのまわりに置かない、使用しない

熱でスプレー缶の圧力が上がり、スプレー缶が爆発するおそれがあります。



禁止

お風呂にお湯はりをするときは、リモコンに表示の温度をよく確かめる

優先ランプのついている操作部・浴室リモコンの給湯温度でお湯はりします。



必ず守る

お湯はり中は、給湯温度を変更しない、運転スイッチ「切」にしない、リモコンの「優先」を切り替えない

浴室リモコンで温度を設定しても、お湯はり中に操作部側に優先を切り替えると、操作部で設定した給湯温度でお湯はりします。操作部で高温に設定している場合などは特に注意してください。



禁止

子供を浴室内で遊ばせない子供だけで入浴させない

思わぬ事故の原因になります。



禁止

燃えやすい物を機器本体や排気筒トップのまわりに置かない(洗濯物、新聞紙、灯油など)

火災の原因になります。



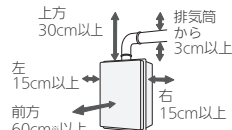
排気筒トップ



禁止

燃えやすい物とは離す(樹木、木材、箱など)

火災予防のため。



※印はアフターサービス上の寸法です。



必ず守る

建物の給気口がホコリ・ゴミなどでふさがっていないか確認する

不完全燃焼の原因になります。



給気口の詰まり!!



必ず守る

外壁の塗装や増改築、家屋の修繕時などに排気筒トップが養生シートで覆われた場合は、機器を使用しない

不完全燃焼や一酸化炭素中毒、爆発点火の原因になります。



禁止

機器本体やガスの配管、排気筒トップなどに乗ったりして、無理な力を加えない

ケガや、機器の変形によるガス漏れ、不完全燃焼のおそれがあります。



禁止

お客さまご自身では絶対に分解したり、修理・改造はおこなわない

思わぬ事故や故障の原因になります。



分解禁止

注意

必ずアースする

機器が故障した場合、感電の原因になります。アースがされていない場合は、販売店または、アースするもよりの大阪ガスにご相談ください。



電源プラグは、コードを持たずに電源プラグを持って抜く

コードを持って抜くと、コードが破損し、発熱、火災、感電の原因になります。

電源プラグ



必ず守る

給湯、シャワー、お湯はり以外の用途には使用しない

思わぬ事故を予防するため。



禁止

使用中や使用後しばらくは、排気筒・排気筒トップ付近に触れない

やけど予防のため。



接触禁止

機器の近くでヘアースプレーやスプレー洗剤は使用しない

故障の原因になります。



禁止

機器の給気フィルターが、ホコリ・ゴミ・タオルなどでふさがっていないか確認する

不完全燃焼の原因になります。



必ず守る

機器の点検・お手入れ・水抜きをする場合は、運転スイッチを「切」にし、機器が冷えてからおこなう

やけど予防のため。機器の使用直後は、機器内のお湯が高温になっています。



必ず守る

子供を機器の周囲・直下で遊ばせない

思わぬ事故の原因になります。



禁止

乾電池に関する注意(取り替え機器についてのお願い)

機器を取り替えた場合、旧機器は専門の業者に処理を依頼してください。もしお客さまで旧機器の処理をされる場合、乾電池を使用している機器は、乾電池を取り外してから正規の処理をしてください。

リモコンには磁石を使用しています

磁石の力は非常に微弱ですが、ペースメーカーなど医療機器を使用している方は、医師とご相談のうえ使用してください。

必ずお守りください(安全上の注意)-3

お願い

雷が発生しはじめたら、すみやかに運転を停止し、電源プラグを電源コンセントから抜く(またはブレーカーを落とす)

雷による一時的な過電流で電子部品を損傷することがあります。雷がやんだあとは電源プラグを電源コンセントに差し込み、時計を合わせてください。

※冬期は、電源プラグを長時間抜くと凍結のおそれがあります。



断水時は運転を停止し、給湯栓を閉める

給湯栓を開けたままにしておくと、給水が復帰したときに水が流れっぱなしになります。

断水復帰後の使い始めのお湯は飲まない、調理に使用しない

断水したときは飲用や調理用に適さない水が配管にとどまることがあります。

断水復帰後は、給湯栓から充分水を流してから使用する

温泉水、井戸水、地下水で使わない

水質によっては、機器内の配管に異物が付着したり、腐食して水漏れすることがあります。この場合の修理は保証期間内でも有料になります。

機器や配管に長時間たまった水や、朝一番のお湯は飲まない、調理に使用しない

雑用水として使用してください。

業務用の用途では使用しない

この製品は家庭用です。業務用の用途で使用すると製品の寿命を著しく縮めます。この場合の修理は、保証期間内でも有料になります。

機器のまわりはきれいしておく

まわりが雑草、木くず、箱などで雑然していると、機器の内部にゴミブリが侵入したりクモの巣がはったりして、機器の損傷や火災の原因になることがあります。

浴槽、洗面台はこまめに掃除する

湯あかが残っていると、水中に含まれるわずかな銅イオンと、せっけんなどに含まれる脂肪酸とが反応して、青く変色することがあります。

操作部は0℃～40℃の室温で、浴室リモコンは0℃～50℃の室温で使用する

故障の原因になります。

浴室リモコンを設置している浴室で、ドライサウナを使用しない

ミストサウナを使用される場合も、50℃以下の室温でご使用ください。

リモコンを分解しない

故障や、思わぬ事故の原因になります。

リモコンの掃除には、塩素系・酸性・アルカリ性の洗剤や研磨剤入りの洗剤、ベンジン・シンナーなどの有機溶剤を使用しない

変色や変形・割れなどの原因になります。

操作部・増設リモコンに、水しぶきをかけない、蒸気を当てない

炊飯器、電気ポットなどに注意。

故障の原因になります。

浴室リモコン・防水型増設リモコンに故意に水をかけない

防水型ですが、多量の水は故障の原因になります。

浴室リモコン・防水型増設リモコンに、シャンプー・リンス・入浴剤などを故意にかけない

変色などの原因になります。

リモコンを子供がいたずらしないよう注意する

運転スイッチ「切」時にはお湯側から水を出さない

お湯を出すときには、運転スイッチ「入」を確認してください。運転スイッチ「切」時にお湯側から長時間水を出すと熱交換器内に結露現象が発生し、不完全燃焼の原因になったり、電気部品の損傷の原因になります。シングルレバー式混合水栓の場合は、レバーを完全に水側にセットしてから水を出してください。

給気フィルターは、ベンジン・シンナー・みがき粉などでふいたり、液状殺虫剤や熱湯などをかけたりしない

変形・変質する場合があります。

給気フィルターを取り外したまま使用しない
ぬれた給気フィルターを取り付けて使用しない

故障の原因になります。

排気ガスが直接建物の外壁・窓・アルミサッシなどや、物置などの塗装品などに当たらないように設置する
増改築時と同様に注意する

ガラスが割れたり、変色したり、塗装がはがれたりする原因になります。

塀などを増設する場合は、機器の点検・修理に必要な空間を確保し、空気の流れが停滞しないように考慮する
塀などと機器との間に十分な空間がないと、機器の点検・修理に支障をきたす場合があります。また、機器の周囲の空気の流れが停滞すると、燃焼不良になるおそれがあります。(機器の修理・点検に必要な空間については、販売店または、もよりの大阪ガスに確認してください)

この機器の純正品以外には使用しない

思わぬ事故の原因になります。

給湯栓を絞らずぎさない

消火する直前の量でお湯を使うと、高温になる場合があります。

やけど予防のため。

凍結による破損を予防する(⇒P24～25)

暖かい地域でも、機器や配管内の水が凍結して破損事故が起こることがありますので、必要な処置をしてください。凍結により機器が破損したときの修理は、保証期間内でも有料になります。

積雪時には排気筒トップの点検、除雪をする

雪により排気筒トップがふさがれると、機器の故障の原因になります。

長期間使用しない場合、必要な処置をする(⇒P26)

凍結および万が一のガス漏れを防止するため。

停電すると、運転が停止します

停電後や、長期不在などで電源プラグを抜いたあとは、現在時刻を確認する

時計がリセットする場合があります。

機器に法定のラベルが貼付されていることを確認する

「特定ガス消費機器の設置工事の監督に関する法律」の対象であり、法定資格を有する者以外、設置・移設できません。

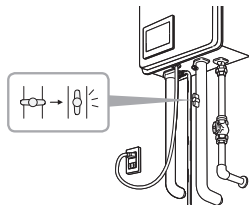
使用時の点火、使用後の消火を確認する

ガス事故防止のため。

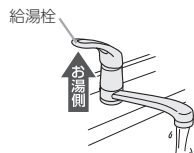
初めてお使いになるときは

初めてお使いになるときは、次の準備と確認が必要です。

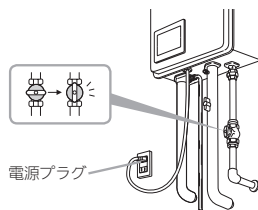
- 1** 給水元栓をゆっくり開け、すべての水抜き栓から水漏れがないか確認してから、給水元栓を全開にする
(水抜き栓の位置⇒P26)



- 2** 給湯栓を開けて水が出ることを確認し、再度閉める

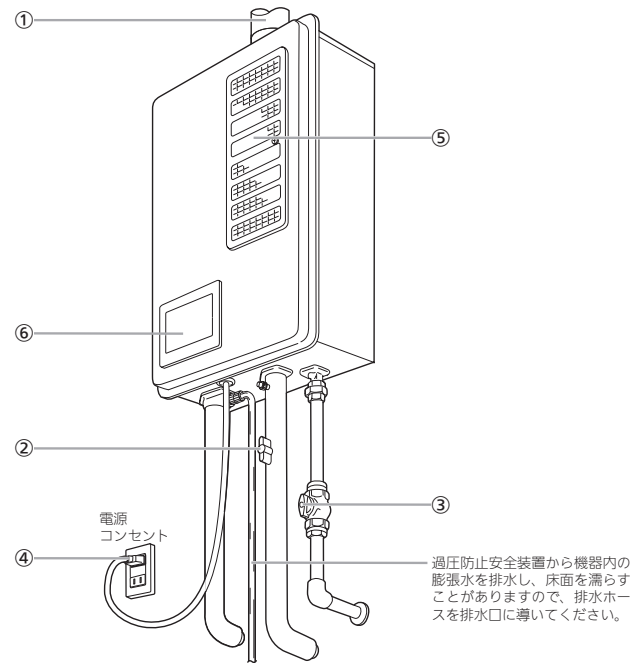


- 3** ガス栓を全開にし、電源プラグが電源コンセントに差し込まれていることを確認する
ぬれた手でさわらない



各部のなまえとはたらき(機器本体)

イラストは施工例です。配管の形状、給水元栓・ガス栓・電源コンセントの位置など実際と異なります。



過圧防止安全装置から機器内の膨張水を排水し、床面を濡らすことがありますので、排水ホースを排水口に導いてください。

- ① 排気筒
- ② 給水元栓
- ③ ガス栓
- ④ 電源プラグ
- ⑤ 給気フィルター
燃焼用の空気を吸い込みます。
- ⑥ 操作部

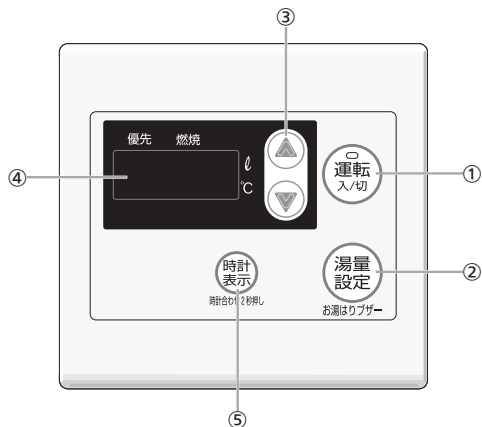
ご使用前に

各部のなまえとはたらき(操作部・リモコン)-1

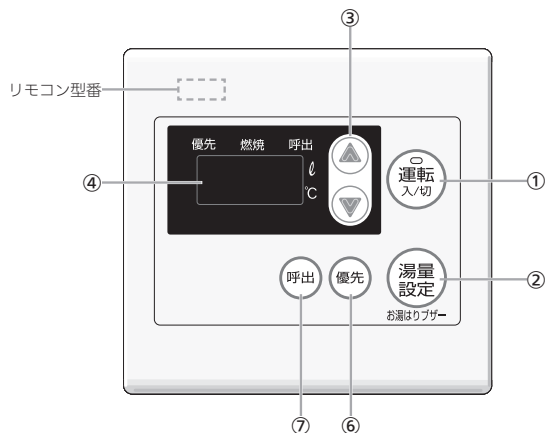
● スイッチ部 ● 各スイッチは押して操作します。スイッチを押すと操作音が鳴ります。

【操作部】

機器に組み付けられています。



【浴室リモコン】 リモコン型番：138-0043型(別売品)



① 運転スイッチ・ランプ(緑)

運転の入・切に。

② 湯量設定スイッチ

お湯はり湯量の調節に。(≒P20)

③ 設定スイッチ

- ・給湯やシャワーのお湯の温度の調節に。(≒P17)
- ・お湯はり温度、お湯はり湯量の調節に。(≒P20)
- ・表示の節電の設定を変更するときに。(≒P23)

④ 表示画面

(≒P14)

⑤ 時計表示スイッチ

時計を表示させるとき、または時計を合わせるときに。(≒P15)

⑥ 優先スイッチ

給湯温度スイッチを押しても給湯温度が変更できない場合、このスイッチを押してください。(≒P18)

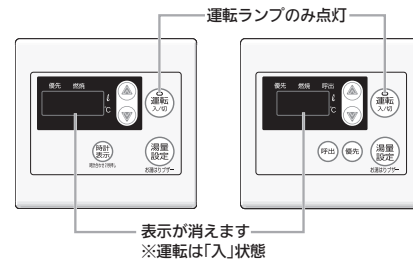
⑦ 呼出スイッチ

浴室から操作部の呼び出し音を鳴らしたいときに。(≒P19)

表示の節電

リモコンの無駄な電力消費を防ぐため、機器を使用しないまま約10分たつと、右のようになります。

- お湯を使ったりスイッチを押すと、「表示の節電」を解除します。
- 呼出スイッチは、1回押すだけで「表示の節電」を解除し、同時に機能もはたります。
- こんなときは表示の節電はしません。
 - ・給湯温度を60℃に設定しているとき(安全のため)
 - ・時計表示をしているとき(操作部のみ)

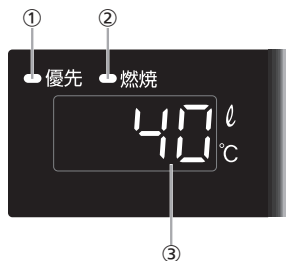


● その他の別売リモコンをお使いの場合は、それぞれの取扱説明書をご覧ください。

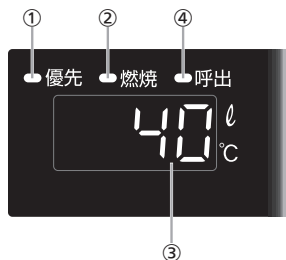
各部のなまえとはたらき(操作部・リモコン)-2

●表示画面 ● 下記の表示画面は説明用です。実際の運転のときは、運転の状態によって異なる表示をします。

【操作部】



【浴室リモコン】 リモコン型番：138-0043型(別売品)



① 優先ランプ(オレンジ)

このランプが点灯しているときは、お湯の温度が調節できます。(☞P17,18)

② 燃焼ランプ(赤)

給湯・シャワーやお湯はりの燃焼中に点灯します。

③ 給湯温度表示

お湯はり湯量表示
お湯はり湯量の設定中に点滅します。

故障表示

不具合が生じたとき、故障表示をします。(☞P34)

時計表示【操作部】

時計表示スイッチを押すと、時計を表示します。(☞P15)

④ 呼出ランプ(緑)

浴室から操作部の呼び出し音を鳴らすと点灯します。(☞P19)

● その他の別売品リモコンをお使いの場合は、それぞれの取扱説明書をご覧ください。

操作部で時計を合わせる・時計を表示させる

【操作部】



時計合わせは操作部でします。
(浴室リモコンではできません)

操作	操作後の画面	お知らせ
1 ① 運転入切 を押して「切」にする ② 時計表示 を時計表示が点滅するまで押す(約2秒)		<ul style="list-style-type: none"> ● 運転入切 「入」でも設定できます。
2 ① 時計表示 を押す ② 時計表示 を押して時計を合わせる	<p>(例：午前10時15分)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 一度押すごとに1分ずつ、長押しすると10分ずつ変わります。
3 ① 時計表示 を押す		<ul style="list-style-type: none"> ● 約10秒間時計を表示し、元の画面に戻ります。 ● 運転「入」の場合は、そのまま時計を表示します。 ● 約30秒そのままにしても設定完了します。

● 時計を表示させる



- **運転入切** の「入」「切」に関係なく、表示できます。
- 再度 **時計表示** を押すと、時計表示が消えます。
- お湯の使用中や、60℃の高温設定時に **時計表示** を押すと、約10秒間時計表示し、その後、元の画面に戻ります。

- 時計表示中に、お湯を使用したりお湯の温度を変更したりすると、時計表示は消えます。
- 停電後または電源プラグを抜いたあと、再通電して時計を表示させると「0:00」に表示が変わりますので、時計合わせをしておいてください。

お湯を出す

【操作部】



【浴室リモコン】



★操作部で説明します★

操作	操作後の画面	お知らせ
<p>1 運転入切を押して「入」にする</p>	<p>(例: 40°C)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 運転入切 ランプ点灯。 現在の給湯温度を表示します。
<p>2 給湯栓を開ける またはシャワーを出す</p>		
<p>●お湯を止めたいとき</p> <p>3 給湯栓を閉める またはシャワーを止める</p>		

お湯の温度を調節する

【操作部】



【浴室リモコン】



★操作部で説明します★

操作	操作後の画面	お知らせ
<p>1 運転入切を押して「入」にする</p> <p>または 優先 が点灯していることを確認する (点灯していないときはP18)</p>	<p>(例: 40°C)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 運転入切 ランプ点灯。 現在の給湯温度を表示します。 【浴室リモコンで操作した場合】 <p>(浴室リモコンの表示例)</p>
<p>2 上/下ボタンを押して調節する</p> <p>あつくなる を押して調節する ぬるくなる</p>	<p>(例: 42°C)</p>	

1回押すごとに1段階ずつ、長押しすると連続で表示が変わります。ただし、44°C以上上げるときは1回ずつ押してください。

●お湯の温度の目安●

37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	60
食器洗いなど	シャワー、給湯など				給湯など				高温			

<60°C設定時の表示例>
約10秒間点滅→点灯

- 目安の温度ですので、季節や配管の長さなどの条件により、実際の温度とは異なります。
- 表示の温度をよく確かめてから使用してください。高温で使ったあと、あらためて使用するときは特に注意してください。
- サーモスタット付混合水栓の場合、水栓によってハンドルの設定よりぬるいお湯が出ることがあります。その場合は、リモコンの給湯温度をハンドルの温度より5~10°C高めに設定してください。詳しくは水栓の取扱説明書をご覧ください。

<p>警告</p> <p>60°Cの高温で使ったあと、あらためて使用するときは特に注意してください。</p>	<p>注意</p> <p>シャワーなどお湯の使用時は、リモコンに表示の温度をよく確かめ、手で湯温を確認してから使用する</p>	<p>警告</p> <p>高温に変更されたときのやけど予防のため。また、低温に変更されたり運転スイッチ「切」にされると、冷水になって使用者が驚く原因になります。</p>	<p>禁止</p> <p>シャワー使用時に使用者以外が、リモコンの温度を変えたり、運転スイッチ「切」にしたり、「優先」を切り替えたりしない</p>
---	--	---	--

<p>警告</p> <p>高温に変更されたときのやけど予防のため。また、低温に変更されたり運転スイッチ「切」にされると、冷水になって使用者が驚く原因になります。</p>	<p>禁止</p> <p>シャワー使用時に使用者以外が、リモコンの温度を変えたり、運転スイッチ「切」にしたり、「優先」を切り替えたりしない</p>
---	--

使
い
か
た

お湯の温度を調節できないときは<優先切替>

【浴室リモコン】



【操作部】



操作	操作後の画面	お知らせ
----	--------	------

● 浴室リモコンで温度調節ができないとき

① 優先 を押して
● 優先 を点灯させる



- 浴室リモコンで記憶していた給湯温度を表示します。
- 再度 (優先) を押すと、操作部で優先が切り替わります。

● 操作部で温度調節ができないとき

② 運転入/切 を押していったん「切」にし、再度「入」にして
● 優先 を点灯させる



- 操作部で記憶していた給湯温度を表示します。
- 運転が停止するため、ご注意ください。運転を停止させたくない場合は、浴室リモコンの (優先) で切り替えてください。

警告 シャワー使用時に使用者以外が、リモコンの温度を変えたり、運転スイッチ「切」にしたり、「優先」を切り替えたりしない

高温に変更されたときのやけど予防のため。また、低温に変更されたり運転スイッチ「切」にされると、冷水になって使用者が驚く原因になります。

「優先」とは

台所、洗面所、シャワーなど、機器からお湯を供給しているところには、同じ温度のお湯が出ます。そのため、お湯を使っているときに他の人が給湯温度を変えてしまうと、出ているお湯の温度が変わり、使っている人がやけどをしたり、急に冷たくなって驚く原因になります。

このような事故などを防ぐために、リモコンが複数ある場合は一つのリモコンでしか給湯温度が変えられないようになっています。

給湯温度を調節できることを「優先」と呼び、給湯温度を調節できるリモコンには ● 優先 が点灯します。

■ (運転入/切) を「入」にしたリモコンが優先になります。

■ 浴室リモコンの (優先) で、リモコンの優先を切り替えることができます。

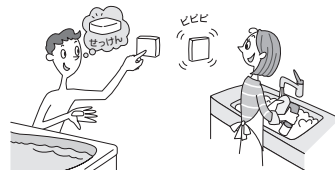
浴室リモコンがある場合

浴室から操作部のブザーを鳴らす<呼び出し>

【浴室リモコン】



浴室にいるときに、何か必要な物があつたり気分が悪くなって人を呼びたいとき、呼出スイッチで知らせることができます。(インターホンではないので会話はできません)



操作	お知らせ
----	------

1 呼出 を押す

- (運転入/切) の「入」「切」に関係なく、使用できます。
- 呼出 ランプ点灯→消灯。
- ブザーが鳴って呼び出します。
- 押し続けると、手を離すまでブザーが鳴り続けます。

使
い
か
た

- リモコン操作音(≠P22)を消しても、呼び出し音は鳴ります。

お風呂にお湯はりをする

【操作部】



【浴室リモコン】



お湯の量を設定しておく、その量になったときにリモコンのブザーが鳴ってお知らせします。
(お湯は自動的に止まりません)

★操作部で説明します★

操作	操作後の画面	お知らせ
準備 		
1 運転 入/切 を押し「入」にする 点灯 ● 優先 燃焼 確認 (例: 40°C)	<ul style="list-style-type: none"> ● 運転 入/切 ランプ点灯。 ● 優先側のリモコンの給湯温度でお湯はります。必ず優先側の給湯温度を確認してください。 	
【お湯はり温度を調節する場合】 あつくなる を押し調節する ぬるくなる	(例: 41°C)	
1回押すごとに1段階ずつ、長押しすると連続で表示が変わります。ただし、46°C以上上げるときは1回ずつ押してください。		
【お湯はり湯量を調節する場合】 湯量設定 を押し、お湯はりブザー 湯量表示が点滅している間に ふえる を押し調節する へる	(例: 180リットル) (例: 160リットル)	<ul style="list-style-type: none"> ● 40～260リットル(20リットルきざみ)、300、350、400、990リットル(ブザーなし)の値で調節できます。(目安の量) ● 約10秒後、給湯温度表示に変わります。

警告 ! お風呂にお湯はりをするときは、リモコンに表示の温度をよく確かめる

優先ランプのついていないリモコンの給湯温度でお湯はりします。

警告 ❯ お湯はり中は、給湯温度を変更しない、運転スイッチ「切」にしない、リモコンの「優先」を切り替えない

浴室リモコンで温度を設定しても、お湯はり中に操作部側に優先を切り替えると、操作部で設定した給湯温度でお湯はりします。操作部で高温に設定している場合などは特に注意してください。

操作	操作後の画面	お知らせ
2 給湯栓を開ける 【お湯はり開始】 	燃焼中点灯 	
【サーモ付混合水栓の場合】 お湯はり時は必ず水栓側の温度設定を「H」または「高」の位置まで回して使用してください。中間の位置で使用すると水が混ざるため浴槽からお湯があふれたり、ぬるくなる場合があります。		
3 設定した量が入るとブザー(ビビ音)が鳴ってお知らせするので・・・ 給湯栓を閉める 【お湯はり完了】 	ビビ 給湯栓を閉めに行こう 消灯 	<ul style="list-style-type: none"> ● お湯はり湯量を990リットルに設定している場合、ブザーは鳴りません。
警告 【サーモ付混合水栓の場合】 給湯栓を閉めたあとは、水栓側の温度設定を約40°Cくらいの位置に戻してください。やけど予防のため。 高温注意		

● お湯はり温度の目安 ●

°C											
37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48
ぬるめ				ふつう						あつめ	

設定するお湯はり温度は目安です。実際の温度は、季節や配管の長さなどの条件により異なります。

リモコン操作音を消す(鳴らす)

【例：操作部】



- リモコン操作音を鳴らないようにしたり、鳴るようにしたりできます。(初期設定(工場出荷時)=鳴らす)
- 操作部・浴室リモコンそれぞれで設定してください。

★操作部で説明します★

操作	お知らせ
1 を押して「切」にする	
2 を約5秒以上押す	<ul style="list-style-type: none"> ● ランプ点灯。 ● 「リモコン操作音を消す」設定にした場合は、変更できても音は鳴りません。 ● 「リモコン操作音を鳴らす」設定にした場合は、変更できると「ピッ」と鳴ります。

● リモコン操作音を消しても、呼び出し音(≒P19)とお湯はりブザー(≒P20~21)は鳴ります。

表示の節電の設定を変更する

【操作部】



【浴室リモコン】



表示の節電をしない(する)ようにできます。

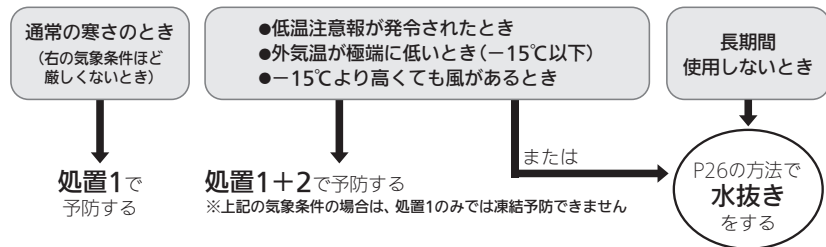
★操作部・浴室リモコンそれぞれで変更してください。ここでは操作部で説明します★

操作	操作後の画面	お知らせ
1 を押して「切」にする		
2 を約2秒間押す お湯はりブザー	 (例: on (表示の節電をする))	
3 on (表示の節電をする) of (表示の節電をしない) を押して設定を変更する	 (例: of (表示の節電をしない))	
4	<ul style="list-style-type: none"> ● そのまま機器を使用する場合は を「入」にする ● 機器を使用しない場合は、約30秒放置する 	

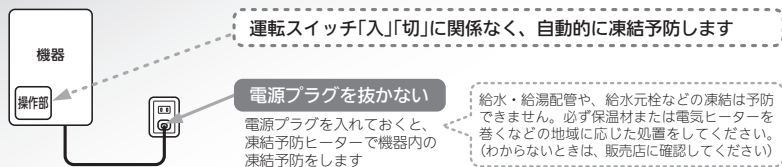
使
い
か
た

凍結による破損を予防する

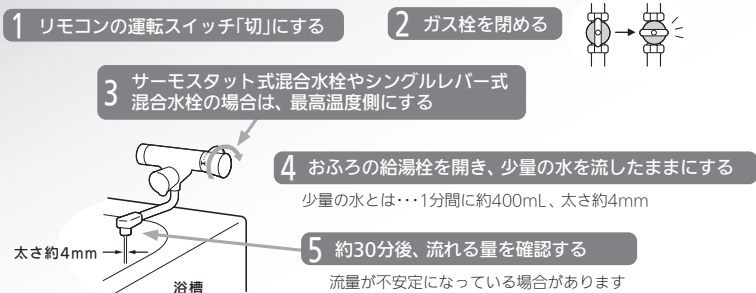
お願い	凍結による破損を予防する	<ul style="list-style-type: none"> ●暖かい地域でも、機器や配管内の水が凍結して破損事故が起こることがありますので、以下をお読みいただき、必要な処置をしてください。 ●凍結により機器が破損したときの修理は、保証期間内でも有料になります。
-----	--------------	---



処置1 凍結予防ヒーターによる方法



処置2 通水による方法



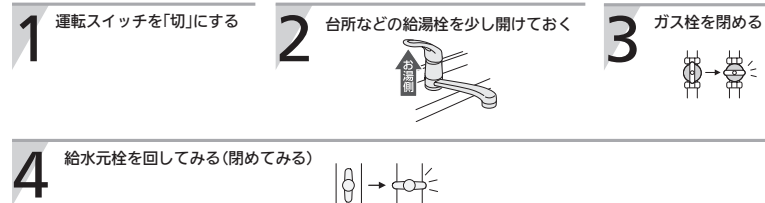
- 機器だけでなく、給水・給湯配管、給水元栓なども同時に凍結予防できます。
- 給湯現象予防として、運転スイッチ「切」の状態でも給湯栓から水を出さないようになっていますが(≠P8)凍結予防の処置の場合は問題ありません。
- サーモスタット式混合水栓やシングルレバー式混合水栓の場合、再使用時の温度設定にご注意ください。やけど予防のため。
- この処置をしても凍結するおそれのある場合には、P26の手順で水抜きをおこなってください。

凍結してお湯(水)が出ないとき

■運転スイッチを「切」にする

- 「入」にしていると燃焼する場合があります。
- 気温の上昇により自然に解凍するまで待つことをおすすめします。

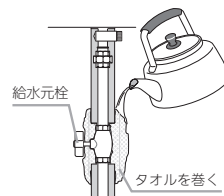
■すぐにお湯を使いたい場合は、以下の方法をお試しください



■給水元栓が凍結して回らない場合

- 1) タオルを給水元栓のまわりに巻く。
- 2) 人肌程度(30~40℃)のぬるま湯を給水元栓に巻いたタオルにゆっくりかける。(床面などがぬれないように処置をする)

- 注意**
- 熱湯をかけると配管が破裂するおそれがあります。
 - 機器の電源プラグ、コード、電源コンセントにお湯がかからないように注意してください。
 - ガス栓とまちがえないように注意してください。



- 3) 給水元栓が回る(水が流れる音がする)ようになったら、給湯栓を閉める。
- 4) タオルを外し、給水元栓のまわりについた水を乾いた布でふき取る。
- 5) 今後凍結しにくいようにするため、給水元栓まわりに保温材をかぶせるなどの処置をする。(わからないときは、販売店に確認してください)

■給水元栓が回るのがに水が出ない場合

給水元栓を必ず閉め、気温の上昇により自然に解凍するのを待つか、販売店または、もよりの大阪ガスにご連絡ください。

- 凍結した場合は、そのままでは絶対に使用しないでください。機器の故障の原因となります。
- 給湯栓から水が出るようになって、機器や配管から水漏れがないかよく確認のうえ使用してください。

長期間使用しないとき(水抜きの方法)

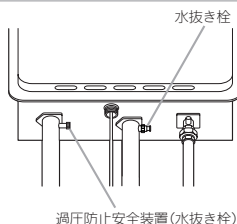
△注意 **!** 機器の水抜きをする場合、しばらく機器を使用しないままにして、機器が冷えてからおこなう
やけど予防のため。機器の使用直後は、機器内のお湯が高温になっています。

準備 水抜き栓などからお湯または水が約700mL以上(配管・設置条件によって量が異なります)出ますので、容器などで排水を受けてください

1 ガス栓を閉める **2** 運転スイッチを「切」にする **3** 電源プラグを抜く
ぬれた手でさわらない

4 給水元栓を閉める **5** すべての給湯栓を全開にする

6 水抜き栓、過圧防止安全装置(水抜き栓)を左に回して開け、外す



過圧防止安全装置(水抜き栓)

7 6の操作より10分以上経過後、完全に排水したことを確認し、水抜き栓と過圧防止安全装置(水抜き栓)、およびすべての給湯栓を開める

※排水途中で排水が一時的に止まっても、しばらくするとまた排水が始まります。必ず10分以上待ってください。

水抜き後の再使用のとき

1. 水抜き栓・過圧防止安全装置(水抜き栓)・家中のすべての給湯栓が確実に閉まっていることを確認する。
2. 給水元栓を開ける。
3. 家中のすべての給湯栓を開け、水が出ることを確認してから閉め、機器や配管から水漏れがないかよく確認する。
4. ガス栓を開け、電源プラグを電源コンセントに差し込む。

日常の点検・お手入れのしかた-1

△注意 **!** 機器の点検・お手入れをする場合、運転スイッチ「切」にし、機器が冷えてからおこなう
やけど予防のため。機器の使用直後は、機器内のお湯が高温になっています。

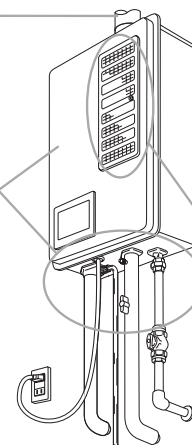
点検(定期的)

チェック 排気筒トップや排気筒が外れたり、穴があいたり、詰まったりしていませんか？

➔ 現象があった場合は、販売店または、もよりの大阪ガスへ連絡する。

チェック ● 機器外装に異常な変色はないか？
● 機器外装の下部周辺などにサビや穴開きはないか？
● 運転中に機器から異常音が聞こえないか？
● 機器・配管から水漏れはないか？

➔ 現象があった場合は、販売店または、もよりの大阪ガスへ連絡する。



チェック 機器や排気筒トップのまわりに洗濯物・新聞紙・木材・灯油・スプレー缶など、燃えやすいものを置いていませんか？

➔ 燃えやすいものを置かない。

チェック 排気筒トップにスがついていませんか？

➔ ついていたら、販売店または、もよりの大阪ガスへ連絡する。

チェック 給気フィルターがホコリなどでふさがっていないか？

➔ ふさがっている場合は、掃除する。

お手入れ(定期的)

● 機器本体 ●

- 機器本体の外装の汚れは、ぬれた布で落したあと充分水気をふき取ってください。特に汚れのひどいときには、中性洗剤を使用してください。

● 操作部・リモコン ●

操作部・リモコンの表面が汚れたときは、湿った布で軽くふいてください。

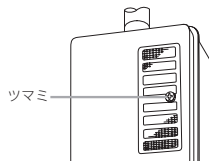
お願い	操作部・リモコンの掃除には、塩素系・酸性・アルカリ性の洗剤や研磨剤入りの洗剤、ベンジン・シンナーなどの有機溶剤を使用しない	お願い	操作部・リモコンに、水しぶきをかけない、蒸気を当てない、故意に水をかけない
変色や変形・割れなどの原因になります。		炊飯器、電気ポットなどに注意。故障の原因になります。防水型のリモコンでも、多量の水は故障の原因になります。	

日常の点検・お手入れのしかた-2

● 給気フィルター ●

給気フィルターがホコリ、ゴミなどで詰まると不完全燃焼の原因になりますので、以下の方法で掃除をしてください。

1. 取付用ツマミを左に回す。
(ツマミはフィルターから外れません)
2. 給気フィルターの右端を少し手前に浮かせながら右に引き出す。
3. 給気フィルターをやわらかいブラシなどを使って、金網に強い力をかけないように水洗いする。
4. 水洗い後はよく乾燥させてから、逆の手順で取り付ける。



お願い	給気フィルターは、ベンジン・シンナー・みがき粉などで拭いたり、液状殺虫剤や熱湯などをかけたりしない	お願い	給気フィルターを取り外したまま使用しない ぬれた給気フィルターを取り付けて使用しない
変形・変質する場合があります。		故障の原因になります。	

● 定期点検のおすすめ(有料) ●

ご使用上支障がない場合でも、不慮の事故を防ぎ、安心してより長くご使用いただくために、年1回程度の定期点検をおすすめします。販売店にご相談ください。

法定点検について-1

お買い上げいただいた製品は、消費生活用製品安全法(消安法)の長期使用製品安全点検制度で指定された特定保守製品です。

● 特定保守製品とは ●

「消費生活用製品のうち、長期間の使用に伴い生ずる劣化(経年劣化)により安全上支障が生じ、一般消費者の生命又は身体に対して特に重大な危害を及ぼすおそれが多いと認められる製品であって、使用状況等からみてその適切な保守を促進することが適当なもの(消安法第2条第4項)」として指定された製品です。

● 法定の点検期間になったら点検を受けてください ●

- ・特定保守製品は、経年劣化による重大事故を防止するために、設計標準使用期間に基づいて製品ごとに設定された点検期間中に点検を受けることが、製品の所有者の責務として求められています(消安法第32条の14)。本製品に表示している点検期間になりましたら、必ず点検を受けてください。(点検は有料です)
- ・なお、法定点検の後もご使用を継続する場合には、こまめに点検を受けることが本製品を安全にお使いいただくために必要となりますので、ご注意ください。
- ・法定点検は、その時点で点検基準に適合しているかどうかの確認であって、その後の安全を担保するものではありません。

● 法定の所有者登録をしてください ●

- ・特定保守製品の所有者は、この製品の製造(輸入)事業者が法定の所有者登録をすることが求められています(消安法第32条の8第1項)。
- ・製品に同梱している「所有者票」に記載している《所有者情報の登録方法》に従って、ご登録をお願いします。
- ・ご登録いただいた所有者情報は、消安法、個人情報保護法および当社規定により適切な安全対策のもとに管理し、法定点検やリコール等の製品安全に関するお知らせをする場合以外には使用いたしません。

● 登録していただいた所有者情報に変更がありましたらご連絡ください ●

- ・所有者情報に変更があった場合、この製品の製造(輸入)事業者に変更の連絡をすることが求められています(消安法第32条の8第2項)。
- ・引っ越しなどで所有者情報に変更がありましたら、速やかに「所有者票」に記載している《所有者情報の登録方法》に掲げる点検連絡先にご連絡ください。ご連絡いただかない場合、法定点検やリコール等の製品安全に関するお知らせが正しく届かないことがあります。

● 法定の点検通知をいたします ●

- ・法定の所有者登録をしていただいた方に、登録情報に基づいて点検期間の開始前に法定の点検通知をいたします(消安法第32条の12)。
- ・点検期間については、製品本体の表示、もしくは製品に同梱している「所有者票(お客さま控え)」をご覧ください。

【本製品の設計標準使用期間について】

本製品は、設計標準使用期間[®]を10年と算定しており、適切な点検をすることなく、この期間を超えて使用すると、経年劣化による発火・けが等の事故に至るおそれがあります。

※設計標準使用期間とは、標準的な使用条件の下で、適切な取り扱いで使用し、適切な維持管理がおこなわれた場合に、安全上支障なく使用することができる標準的な期間として設計上設定される期間で、製品ごとに設定されるものです(消安法第32条の3)。

「保証期間」とは異なるのでご注意ください。(保証期間は保証書を参照願います)

<設計上の標準使用期間の算定の根拠>

本製品の設計上の標準使用期間は、次のように設定しています。

- 1) 始期…製造年月
- 2) 終期…JIS S 2071の「標準使用条件」に基づいて想定した以下の使用条件にて、当社において耐久試験等を行い、その結果算出された数値等に基づいて、「経年劣化により安全上支障が生ずるおそれが著しく少ないこと」を確認した時期

(つづく)

法定点検について-2

(つづき)

■使用条件(給湯)

項目	条件
家族構成	4人定員
用途	台所・洗面・シャワー・湯はり
季節	中間期(春・秋)
気温・湿度	20℃・65%
給湯温度	15℃
出湯温度	40℃
1日使用量	456リットル
1日使用時間	1時間
1年使用日数	365日

※「使用条件」は、弊社における代表的な製品の条件を記載しています。製品によっては、使用条件が異なります。

＜ご注意ください＞

使用頻度・使用環境・設置場所が標準的な使用条件と異なる場合、または、業務用等本来の目的以外の方法で使用された場合は、本体に記載の設計上の標準使用期間よりも短い期間で経年劣化が起きる可能性があります。これに該当するような場合は、下記「本製品の点検等に関するお問い合わせ先」にご連絡ください。

● 法定点検について ●

法定点検は、大阪ガスまたは大阪ガスが委託した事業者が行います。

【法定点検の内容について】

- ・特定保守製品について、点検期間中に点検基準に従って実施する有料の法定点検です。
- ・点検基準は消防法省令に定められており、製品区分ごとに点検項目・点検内容が定められています。
- ・点検の結果は、点検結果表にてお知らせします。
- ・点検の結果、不適合となった場合には可能な限りの選択肢をお知らせします。この場合、整備(修理を含む)をおこなって使用を継続するかどうかはお客さまの判断となります。

【法定点検の料金について】

点検料金は、お客さまにご負担いただきます。また、点検の結果、整備が必要となった場合は、別途整備費用(有料)が発生いたします。点検料金は技術料、出張料などを合計した金額となります。

なお、点検料金の設定の基準等や、点検要請に対して速やかに対応できるよう配置しておりますサポート拠点については、下記のアドレスからご覧いただけます。

<http://www.osakagas.co.jp/>
インターネットでご確認できない場合は、右記「本製品の点検等に関するお問い合わせ先」にご連絡ください。

■ 本製品の点検等に関するお問い合わせ先

大阪ガスお客さまセンター

Telフリーダイヤル 0120-00-94817

【受付時間】(月～土) 9:00～19:00

(日・祝) 9:00～17:00

【本製品の点検の結果必要となると見込まれる整備用部品の保有期間】

整備用部品とは、法定点検の結果、不備が認められた場合に、安全性を確保(回復)させるために必要な部品であり、補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)とは異なります。

- (1) 点火・消火装置に関する部品：製造打切後11年
点火プラグ・イグナイター
- (2) 水・湯・ガス通路に関する部品：製造打切後11年
サーミスター・バッキン・Oリング
- (3) 安全装置に関する部品：製造打切後11年
COセンサー・ハイルIMITスイッチ・温度ヒューズ・フレームロッド

※補修用性能部品の保有期間は保証書をご覧ください。

【本製品の日常的におこなうべき点検・お手入れ】

製品を安全にご使用いただくために、月1回程度は、お客さまで日常的に点検やお手入れを行ってください。

＜点検・お手入れ前のご注意＞

- ・運転スイッチ「切」にするか、電源プラグを抜いて行ってください。
- ・製品の使用後は、製品や製品内のお湯が高温になっていますので、やけど予防のため製品が冷えてから点検・お手入れを行ってください。

＜点検・お手入れの内容＞

- ・取扱説明書の、日常の点検・お手入れに関する項目および安全上の注意に関する項目をご覧ください。
- ・次のような症状があれば経年劣化の兆候と考えられますので、上記お問い合わせ先にご連絡ください。
 - 運転中に機器から異常音が聞こえる
 - 機器外観に異常な変色や傷がある
 - 機器・配管から水漏れがある
 - 排気口・(給)排気トップ部にススがついている

故障・異常かな?と思ったら-1

	こんなときは	こんなことが考えられます	処置	
お湯・シャワー	給湯栓を開いてもお湯が出てこないお湯にならない	ガス栓・給水元栓が全開になっていない。 断水している。 給湯栓が充分開いていない。 ガスメーター(マイコンメーター)がガスを遮断している。 凍結している。 運転スイッチ「切」になっている。 夏場などの水温が高いときに、低温のお湯を少量出そうとすると、お湯になりません。	ガス栓・給水元栓を全開に。 復旧を待つ。 給湯栓を充分に開ける。 もよりの大阪ガスに連絡を。 ☞P25 運転スイッチ「入」に。 給湯温度を上げるか、給湯栓をもっと開いて使用する。	
	お湯が出てくるまで時間がかかる	機器から給湯栓まで距離があるためです。	異常ではありません。	
	低温のお湯が出ない	給水元栓が全開になっていない。 給湯栓が充分開いていないときや、夏場などの水温が高いときは、お湯の温度が設定温度より高くなる場合があります。このような場合、安全のため機器が燃焼を停止することがあります。	給水元栓を全開に。 給湯栓を充分に開ける。	
	高温のお湯が出ない	ガス栓が全開になっていない。	ガス栓を全開に。	
	給湯栓を絞ると水になった	給湯栓から流れるお湯の量が1分間に約3.5リットル以下になったとき消火します。給湯栓をもっと開いてお湯の量を多くすれば、お湯の温度は安定します。 水温が高いときに低温のお湯を少量出そうとすると、お湯にならないことがあります(自動的に燃焼を停止し高温のお湯にならないようにします)。給湯栓をもっと開いてお湯の量を多くすれば、お湯の温度は安定します。	異常ではありません。 異常ではありません。	
	給湯温度の調節ができない	操作している操作部・リモコンが優先になっていない。	優先切替。☞P18	
	お湯が白く濁って見える	水中に溶け込んでいた空気が熱せられ、細かい泡となって出てくる現象で、無害なものです。	異常ではありません。	
	給湯栓から出るお湯の量が変化する	お湯を使用中に、他の場所でお湯を使用したりお湯はりをすると、お湯の量が減る場合があります。 水道の圧力や配管条件によっては、お湯の量が変化する場合があります。また、水栓の種類によっては、初め多く出てその後安定するなど、お湯の量が変化するものがあります。	異常ではありません。 他の場所での使用やお湯はりが終わると、元に戻ります。 異常ではありません。	
			お湯の温度を早く安定させるために、初め少なく出てその後安定するなど、出湯量が変化することがあります。	異常ではありません。

必要なき

困ったとき

故障・異常かな?と思ったら-2

	こんなときは	こんなことが考えられます	処置
お風呂	設定したお湯はり湯量より、多くお湯はりされてしまう	残り湯(水)がある場合や、お湯はり中断して再度お湯はりをする場合、浴槽に残っている湯(水)の量だけ、設定したお湯はりの湯量より多くなります。	異常ではありません。
	設定したお湯はり湯量より、少なお湯はりされてしまう	お湯はり中に台所・他でお湯を使用すると、使用した分だけお湯はりの量が少なくなります。	異常ではありません。
	設定したお湯はり温度にならない	前日などの残り湯(水)があるときは、その分だけ設定した温度よりぬるくなります。	異常ではありません。
	設定した湯量までお湯はりしてもお湯はりブザーが鳴らない/鳴るタイミングがずれている	次のような場合は、お湯はりブザーは鳴りません。 ・お湯はり中に、操作部で優先を切り替えるため運転スイッチを「切」/「入」した。 ・お湯はり湯量を「990リットル」に設定している。	☞P20
		設定した湯量分お湯が連続して出ると、お湯はりブザーが鳴るしくみになっています。お湯はり中に台所やシャワーでお湯を使うと、設定した湯量になる前にお湯はりブザーが鳴ります。 サーモスタット付混合水栓の場合、水栓で水を混ぜるため、設定したお湯はり湯量より水の分だけ多いところでお湯はりブザーが鳴ります。	異常ではありません。 ☞P21
ユニット	運転ランプが点灯しない	停電している。 電源プラグが抜けている。	復旧を待つ。 電源プラグの確認を。
	時計表示が「0:00」になっている	停電後または電源プラグを抜いたあと、再通電して時計を表示させると「0:00」になる場合があります。	時計を合わせ直す。 ☞P15
	停電後または電源プラグを抜いた後、給湯温度が変わってしまう	停電後または電源プラグを抜いた後、再通電すると給湯設定温度がお買い上げ時の設定に変わる場合があります。	給湯温度を設定しなおす。 ☞P17
	表示の節電の状態にならない	表示の節電をしない設定になっている。 給湯温度を60℃に設定している場合は、表示の節電はしません。 時計表示をしているときは、表示の節電はしません。	☞P23 異常ではありません。 異常ではありません。
	リモコンの画面表示がいつのまにか消えている	お湯を使わないまま、またはスイッチを押さないまま約10分たつと画面表示が消えます。	お湯を使ったり、スイッチを押すと、表示の節電を解除します。
	スイッチを押しても、そのスイッチの動作をしない(例)運転スイッチを押して「切」にしたはずなのに、切れていない など...	表示の節電中は、1回押すと表示の節電を解除し、もう1回押すとそのスイッチの機能がはたらくスイッチと、1回押すだけでそのスイッチの機能がはたらくスイッチがあります。(運転スイッチ「入」/「切」は、運転ランプの点灯・消灯で確認してください)	☞P13
	リモコンのスイッチや表面のビニールが破れてきた、はがれてきた、浮き上がって空気が入っている	リモコンの表面には、出荷時に保護シート(表面に傷などがつかないようにするためのもの)が貼ってあります。この保護シートは、はがさずに使用してもはがして使用してもかまいません。保護シートをはがさずに使用した場合は、よく触れる部分などが破れてきたりはがれてきたりしますが、そこからリモコンに水が入って故障することはありません。	気になる場合は保護シートをはがす。

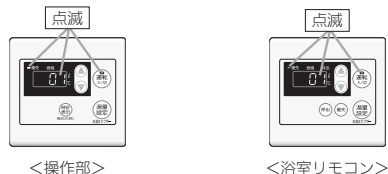
	こんなときは	こんなことが考えられます	処置
機器全般	寒い日に排気筒トップから湯気が出る	冬に吐く息が白く見えるように、排気ガス中の水蒸気が白く見えるためです。	異常ではありません。
	運転中に停止した	ガス栓・給水元栓が全開になっていない。 断水している。 給湯栓が充分開いていない。 ガスメーター(マイコンメーター)がガスを遮断している。	ガス栓・給水元栓を全開に。 復旧を待つ。 給湯栓を充分に開ける。 もよりの大阪ガスに連絡を。
	運転を停止しても、しばらくの間ファンの回転音(ブーン)がする	再使用時の点火をより早くするため、また、再使用時にお湯の温度を早く安定させるために機器が作動している音です。	異常ではありません。
	過圧防止安全装置(水抜き栓)から、お湯(水)が少しの間出ることがある	機器内に高い圧力が生じたとき、過圧防止安全装置のはたらきにより、過圧防止安全装置(水抜き栓)から水滴が落ちることがあります。排水処理されていない場合は、販売店に相談してください。	異常ではありません。
	浴槽や洗面台が青く変色した	浴槽や洗面台が水中に含まれる微量の銅イオンと脂肪分(湯あか)により青く着色することがありますが、健康上問題ありません。	浴室用洗剤とスポンジでこまめに掃除することにより着色しにくくなります。

故障・異常かな?と思ったら-3



故障表示が出ているときは

不具合が生じたとき、リモコンの表示画面に故障表示が点滅します。下表に応じた処置をしてください。



お客さまで対処できるもの

故障表示	原因	処置
01	給湯を連続60分以上運転したため	給湯栓を閉め、運転スイッチをいったん「切」にし、再度「入」にして使用してください。
03	給気フィルターの取り付け忘れの可能性あります	給気フィルターを取り付けてください。(※P28) 給気フィルターを取り付けても表示する場合は、販売店または、もよりの大阪ガスにご連絡ください。
11	点火エラーが生じたため	運転スイッチ「切」にし、下記の※の事項を確認して、問題があれば処置してください。 その後運転スイッチ「入」にし、給湯栓を開いて表示が出なければ正常です。
05 13	一酸化炭素濃度が上昇し、不完全燃焼防止装置(COセンサー)がはたらいたため	【ブザーが鳴らないとき】 ・窓を開けて十分な換気をしてください。 ・給湯栓を閉めてください。 ・給気フィルターが汚れている時は給気フィルターを外して掃除してください。(※P28) ・運転スイッチをいったん「切」にし、再度「入」にして表示が出なければ正常です。 【ブザーが鳴るとき】 (ブザーは運転スイッチを「切」にすれば止まります) ・窓を開けて十分な換気をしてください。 ・製品などに異常があります。販売店または、もよりの大阪ガスにご連絡ください。
16	お湯の温度が設定温度より異常に上がりすぎたため	給湯栓を閉め、運転スイッチをいったん「切」にし、再度「入」にして、給湯栓をもっと開いて使用してください。

※「11」表示時の確認事項

- ガス栓が開いていなければ、きっちりと止まるまで開ける。
- ガスメーター(マイコンメーター)がガスを遮断していたら、もよりの大阪ガスに連絡する。

以下の場合、販売店または、もよりの大阪ガスにご連絡ください

故障表示	原因	処置
38	不完全燃焼防止装置(COセンサー)寿命報知	不完全燃焼防止装置(COセンサー)の耐用時間を超えた場合に 표시됩니다。販売店または、もよりの大阪ガスにご連絡ください。この場合の修理は有料になります。
88	長期にわたり、機器を使用した場合にお知らせします	販売店または、もよりの大阪ガスにご連絡ください。点検のご案内をさせていただきます。(機器は使用できます)
90 99	本体の燃焼に異常が生じたため	販売店または、もよりの大阪ガスにご連絡ください。

● P34～35以外の表示が出るとき
● P34～35の処置をしてもなお表示がくりかえし出るとき
● その他、わからないとき

アフターサービスについて

サービスを依頼されるとき

P31～35の「故障・異常かな?と思ったら」を調べていただき、なお異常のあるときは、販売店または、もよりの大阪ガスにご連絡ください。

● 連絡していただきたい内容 ●

型番 533-N500型 (銘板でも確認できます。P2)
異常の状況 故障表示など、できるだけ詳しく
ご住所・ご氏名・電話番号
訪問ご希望日



保証について

この取扱説明書の最終ページに保証書がついています。
保証書に記載されている保証期間・保証内容をよくご確認のうえ、大切に保管しておいてください。

無料修理期間経過後の故障修理については、修理によって機能が維持できる場合、有料で修理いたします。

補修用性能部品の保有期間

この製品の補修用性能部品の保有期間は、製造中止後10年です。
但し、保有期間経過後であっても補修用性能部品の在庫がある場合は、有料修理いたします。
なお、補修用性能部品とは、製品の性能を維持するための部品です。

移設される場合

転居などで機器を移設されるときは、機器(銘板)に表示してあるガスの種類・電源(電圧・周波数)が移設先と合っているか必ずご確認ください。
不明のときは、移設先のガス事業者、販売店または、もよりの大阪ガスにご相談ください。

ガスの種類異なる地域へ移設されるときは、機器の改造・調整が必要です。この改造・調整に伴う費用は、保証期間中でも有料です。

※ガスの種類によっては改造・調整できない場合があります。

主な仕様

- ・本仕様は改良のためお知らせせずに変更することがあります。
- ・出湯能力は湯水混合の計算値です。
- ・但し、水圧、給湯配管の条件、お湯の設定温度によって多少異なります。
- ・ガスはJISに規定する標準ガス、標準圧力での値です。

● 仕様表

		10号
型番	533-N500型	
型式名	GQ-1037WD-F-1	
設置方式	屋内設置形	
使用水圧 (MPa)	0.1~1.0 (1.0~10.0kgf/cm ²) <推奨水圧 約0.15~0.5 (約1.5~5.0kgf/cm ²) >	
作動水圧 (kPa)	15 (0.15kgf/cm ²)	
最低作動流量 (L/分)	3.5	
外形寸法 (mm)	高さ560×幅350×奥行170	
質量 (本体) (kg)	18.0	
接続ガス	給湯・給水 R1/2 ガス R1/2	
電源	AC100V (50/60Hz)	
消費電力 (50/60Hz) (W)	48/48	
待機時消費電力	4.3 (2.9 : COセンサー分を除く)	
凍結予防ヒーター	125	
安全装置	立消え安全装置、空だき安全装置、停電時安全装置、過熱防止装置、過電流防止装置、凍結予防装置、過圧防止安全装置、ファン回転検出装置、沸騰防止装置、不完全燃焼防止装置 (COセンサー)、漏電安全装置	

● 能力表

使用ガス	1時間当たりのガス消費量 (最大消費量) (kW)	出湯能力 (最大時) (L/分)	
		水温+25℃上昇	水温+40℃上昇
都市ガス 13A	22.1	10	6.5

初期設定一覧

項目	初期設定
時計表示(未設定時)	0:00
リモコン操作音	鳴らす
給湯温度	40℃
お湯はり温度	40℃
お湯はり湯量	180リットル
表示の節電	on(する)